

根室市議会議長 本田 俊治 様

会派名 大地
代表者名 富川 歩

政務活動報告書

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	下田農業ふれあい館 地場産業の現状と今後の可能性について 佐倉市国立歴史民俗博物館 市歴史文化の展示方法と保管、また博物館の在り方について
期 間	令和2年2月12日（水）～2月14日（金）
参加者氏名	遠藤 輝宣・富川 歩・久保 浩昭
応 対 者	下田農業ふれあい館 垣通 鎮夫 佐倉市国立歴史民俗博物館 太田
場 所	下田農業ふれあい館 千葉県千葉市若葉区下田 971 佐倉市国立歴史民俗博物館 千葉県佐倉市城内町 117 番地
行 程	2月12日（水）根室⇒中標津空港⇒千歳空港⇒羽田空港（東京） 2月14日（金）羽田空港（東京）⇒中標津空港⇒根室
内容・成果等	※下田農業ふれあい館 ：農業生産者の高齢化また担い手不足などの課題を抱え地域産業としての活動を活発化させる仕組みについて視察させて頂いた。建物と土地は千葉市の所有ではあるが、指定管理者制度により管理、運営を行っている。スタッフは地元の生産に関わる方々が主体。他、レストランにおいては東京情報大学や千葉大学との連携で、農産物のコラボ加工品、また生産者が講師となり現在、農業が置かれている現状についての将来展望や若い方達への呼びかけをテーマとして講話、座談会を行っていた。 ※佐倉市国立歴史民俗博物館 ：根室市に寄贈された「北構コレクション」や日本百名城の1番に登録されている「チャシ跡」などの調査、研究と保管や保存と並行し、観光に活かす事は出来ないものかと考え視察に行ってきた。内容は極めて充実しており他研究機関との連携や国内外の大学との連携体制をとり様々な角度から研究調査を行えるよう、研究の基本資源としての保管や展示を行っている。他、歴博の活動として一般人のボランティア活動や、子供達へ興味を持ってもらう為の工夫など、「友の会」の運営がなされていた。

報告番号 2 号
令和2年2月19日

根室市議会議長 本 田 俊 治 様

会 派 名 大 地
代表者名 富川 歩

政務活動報告書

区 分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	北方領土返還要求東京アピール行動
期 間	令和元年 11 月 30 日（土）～ 12 月 2 日（月）
参 加 者 氏 名	遠藤 輝宣 富川 歩 久保 浩昭
応 対 者	「北方領土返還要求中央アピール行動」12月1日(日) 日比谷公園音楽堂 根室市議会議員 16名参加 全国の返還運動関係者等、約 500人参加
場 所	東京都 日比谷公園音楽堂→銀座周辺 約 1.6 キロ
行 程	11 月 30 日 根室→羽田空港 12 月 1 日 返還アピール行動 12 月 2 日 羽田空港→根室
内 容 ・ 成 果 等	東京都心で行われた令和最初の北方領土返還要求アピール行動。 全国から集まった、総勢 500 名余りの志を共にする参加者と共に返還、また 1956 年宣言に基づき、平和条約締結に向け、声を上げて来た。元島民の平均年齢が 84 歳となり、残された時間も無い事から、一日も早い自由な往来できるように、また最善解決を鈴木宗男代表と共に目指していきたい。

根室市議会議員 本田 俊治 様

会派名 大地
代表者名 富川 歩

政務活動報告書

区 分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	丸山穂高衆議院議員の言動に対する抗議・要請行動
期 間	令和元年5月30日（木）～5月31日（金）
参 加 者 氏 名	久保 浩昭
応 対 者	衆議院議長、衆議院運営委員長、自民党幹事長代行 内閣府特命担当大臣（沖縄・北方対策） 衆参両沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長 道内選出国會議員
場 所	衆議院議長室、 内閣府特命担当大臣室、 衆参両沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長室 衆参議員会館
行 程	5月30日（木） 根室⇒中標津空港⇒羽田空港（東京） 5月31日（金） 抗議・要請活動（終日）
内 容 ・ 成 果 等	<p>衆議院議長、衆議院運営委員長、自民党幹事長代行、内閣府特命担当大臣（沖縄・北方対策）、衆参両沖北委員長、道内選出国會議員などに決議文を提出。北方領土原点の地として根室の立場から丸山穂高議員へ強い抗議の意思を伝えた。</p> <p>院を代表して衆議院議長から直接の謝罪があり、歴史的にも北方領土返還運動の先頭に立ってこれまでやってきた元島民をはじめ、根室の市議会皆様の声を重く受け止め、何らかの結論を出さなければならないとの発言があった。</p> <p>内閣府特命担当大臣（沖縄・北方対策）からは、これまで積み上げてきたビザなし交流等の実績をこの一件で全て壊してしまう行為で憤りを感じるという発言もあった。</p> <p>また、それぞれの訪問先では、この度の国會議員としての言動の重大性、根室市民や元島民の怒りを理解して頂き、今後のビザなし交流や外交交渉に影響がないよう努力するとの言葉を頂き、この度の抗議・要請活動は一定の成果があったと考える。</p>